

思考力，表現力を高める学習指導の在り方

神崎市立神崎小学校 教諭 馬場 早苗 武雄市立山内西小学校 教諭 川島 勝秋
みやき町立北茂安中学校 教諭 宮本 晃子 唐津市立第一中学校 教諭 嬉野 雅也
佐賀県立三養基高等学校 教諭 小野 剛

1 グループ研究の趣旨

現行の学習指導要領において、知識・理解の指導項目が大幅に削減され、学力低下が懸念されている。これまで行われた各調査結果からは、次のような傾向がみられた。

平成16年度佐賀県小・中学校学習状況調査において、小学校国語では、「読むこと」の領域、中でも、表現の工夫や特徴を読み取る問題の通過率が低く、全領域で自分の立場や考えを、根拠をもって説明する力が十分育っていなかった。また、中学校国語でも説明的な文章を読み取る問題で通過率が低く、文章の構成や展開に即して、文章を理解し、分析して要約する点に課題があった。そして、中学校理科は、全領域で「科学的な思考」の通過率が低く、観察・実験の結果を文章や図にまとめ、数量的な変化を表現する能力も不十分であった。さらに、高等学校理科（化学）では、平成14年度高等学校教育課程実施状況調査において、科学的な思考力や論理的な表現力不足のために、無解答になる例も多かった。

これらの問題点を解決するためには、思考力，表現力を身に付けさせる学習活動の工夫をしなければならないと考える。その活動では、様々な情報を収集し、分析，比較，整理する力を高めるとともに、それらを事実や根拠を挙げながら、適切な表現方法により自分の考えを的確に説明する力を付けさせることが必要になってくる。

そこで、本グループでは、単元の中に思考力を高めるための調べる活動や、表現力を高めるための説明する活動を取り入れていくことが必要ではないかと考え、研究を進めていくこととした。

2 研究の内容と方法

本グループでは、筋道を立てて考える活動，自分の考えの根拠をもつための調べるあるいは説明する活動を取り入れた学習活動の工夫・改善を各研究領域で行った。

(1) 小学校国語科

ア 文学的文章の学習において、情景や心情を適切に表現した言葉や文章を探しながら、言葉や表現に着目して考えを交流する活動を通して、思考力，表現力の育成を目指した。

イ 説明的文章において、要旨を読み取る要約の学習に取り組みせ、筆者の考えが表れているキーワードを見付ける活動や要約文を書く活動を通して、思考力，表現力の育成を目指した。

(2) 中学校国語科では、説明的文章において、目的意識をもたせ、ポイントを明らかにした要約指導により、文章を的確に理解させる活動を通して、思考力，表現力の育成を目指した。

(3) 中学校理科では、実験の結果から規則性を導き出す過程において、グラフの目的・意義を把握させた上で、実験から得られたデータを基にグラフの作成を行い、作成したグラフの活用を通して、科学的な思考力と論理的な表現力の育成を目指した。

(4) 高等学校理科（化学）では、興味・関心や探究心を高める実験を通して、レポート作成の際に定型文を用いた記述指導とグループ討議などの活動を通して、科学的な思考力と論理的な表現力の育成を目指した。